交渉会合が2010年3月にオーストラリアででよう。さらに、オーストラリア、ペルー、国となり、さらに、オーストラリア、ペルー、ら1週間後の2008年9月に最初の追加交渉ら1週間後の2008年9月に最初の追加交渉ら1週間後の2008年9月に最初の追加交渉に大きく報道されることもなかった。その後、コュージーランド、シンガポールの4カ国が参ニュージーランド、シンガポールの4カ国が参 さらにその後、マレーシア、カナダ、メキシコ 開催され、いわゆるTPP交渉がスタートした。 0 6 現在11カ国での交渉会合が続いてい (平成18) 年 5 バネイ、

自由化と市場開放が奏功し高成長に沸いている渉でも推進役を果たすペルーについて、投資のが開かれた。5月26日の朝日新聞は、TPP交を開かれた。5月16ペルーで17回目の交渉会合 との現 であるか - ペルーの自由化」であるが、黒船が何地レポートを報じている。見出しは、「黒 はひとことも触れられていない。

表が国に黒船が来航したのは、160年前、 表示の1853(嘉永6)年7月8日のことで 幕末の1853(嘉永6)年7月8日のことで がに姿を現し、幕府に開港を迫るが、将軍家慶 は江戸を離れる。ペリー出航から10日後、家慶 は死去する。香港でこれを知ったペリーは、1 854(嘉永7)年2月13日に再び来航、九隻 の大艦隊を江戸湾に終結させ、1年の猶予を反 の大艦隊を江戸湾に終結させ、1年の猶予を反 がにし半年での決断を迫る。幕府は開国要求を 数にし半年での決断を迫る。幕府は開国要求を ることとなった。 受け入れ、3月31日に日米和親条約が締結され

際に走行し人々を驚かせたといわれる。182の大きさの蒸気機関車が円形のレールの上を実将軍へ蒸気機関車の模型が献上され、4分の1この2度目のペリーの来航の時、大統領から 5年にイギリスで蒸気機関を利用する鉄道が実

> 用 化されてから約30年後のことであっ

身を置くことになった我が国にとっては、国家熾烈な市場拡大・植民地獲得競争の荒波の中に長い鎖国の泰平の眠りから、西洋列強による の自立維持が最大の命題であった。

入して新橋・横浜間の建設が始まる。推進したによる鉄道建設を決定し、イギリスの技術を導明治維新の翌年1869(明治2)年には官営興業におかれ、鉄道敷設は重要な課題であった。興業におかれ、鉄道敷設は重要な課題であった。明治新政府の国策の基本は、富国強兵・殖産 のが井上勝で、日本鉄道の父と呼ばれる。

1 8 8 6 (明治21) 年6月、鉄道長官井上は、 盛岡に入り、 時

に広がる数千町歩の荒れ地を目の当たりにする。「これまでの十数年、鉄道敷設の事業に営々を携わってきた。その間、我が国の文明開化のと携わってきた。その間、我が国の文明開化のるならば、せめてこういう土地を開墾し、農牧るならば、せめてこういう土地を開墾し、農牧るならば、せめてこういう土地を開墾し、農牧の用に供し、その埋め合わせをするの事業に営々まいか…」 山南麓 0 地を訪れ、 面

保証人とする盛岡郊外雫石寸の雪雪電子は定かではないが、井上を願人、岩崎、岩崎、 保証人とする盛岡郊外雫石村の官有原野の拝借は定かではないが、井上を願人、岩崎、小野を(彌太郎の弟)に、何時どのように伝えたのかた小野義真と当時の三菱社の社長の岩崎彌之助この想いを、井上が、日本鉄道副社長であっ

立されることとなった。と岩崎と井上の頭文字を冠した小岩井農場が設願いが許可され、1891(明治24)年、小野

象条件も加わって、百数十年にわたり荒れ果てず、さらに、「霖雨早冷」といわれる厳しい気の育ちにくい酸性である上に水利にも恵まれた。原野を蔽う表土は火山灰土壌であり、作物 多量の火山砂礫や降灰の堆積する原野であ山で、江戸時代にも度々噴火しており、山麓は たまま放置されていたのである。 開拓は困難を極める。 岩手山 は

木もほとんど生えておらず、まず、風を防ぐ れ、不毛の地は緑の牧草地へと姿を変えた。 ものための低湿地の暗渠排水事業、酸性土壌の 中和などの基盤整備は十数年にわたって続けら 中和などの基盤整備は十数年にわたって続けら れ、不毛の地は緑の牧草地へと姿を変えた。 に、宮沢賢治が「小岩井農場の奇跡」と呼んだ超える一本桜を愛でるが、そこに広がる牧草地多くの観光客が訪れ、春には樹齢100年を の歴史があったことに気付く人は少な

商ルールの変更という「黒船」と向き合い、で今、我が国は、経済のグローバル化に伴うで志が今も語り継がれているという。田良圃を潰した」という感慨とともに、創業の田良圃を潰した」という感慨とともに、創業の 日も引き貴した一という感慨とともに、創業の農場の歴史は120年を超えるが、井上の「美この国に新たな牧場文化を育んできた小岩井 新通

に多くを学び、日本農業の再生に貢献し、10もった企業が農業に参入し、小岩井農場の歴史とは大きく異なるが、農への理解と高い志を食や農を取り巻く環境も国際化の状況も明治 0年後にも活躍していることを期待したい。 の時には、小岩井農場が200年を超える歴史 い時代を切り拓こうとしている。